

成果の説明書

| | |
|---|-------------|
| (氏名) 関口 智子 | (学部) 地域政策学部 |
| <p>1 重要事項</p> <p>両学部英語カリキュラム一元化開始</p> <p>2014年度後期より、両学部英語カリキュラム一元化に向けて準備を進めていたが、2017年度より一元化新カリキュラムがスタートした。初年度は、4つの必修英語科目のうち、General English I, II および Business English I, II が開講された。(次年次より、General English III, IV および Business English III, IV が開講) General English I, II のコースリーダーとして、4つのレベルの担当教員を統括した。</p> <p>① CST (Common Speaking Test) の実施</p> <p>General English I, II の学期末に行われるスピーキングテストの形式および採点基準を決定し、詳細な実施手順を作成した。スピーキングテストのサンプルビデオの撮影、サンプル音声の収集を行い、これを講師室の PC にアップすることで担当教員がいつでも参照できるようにした。また、スピーキングテスト数週間前に、月から金まで5日間昼休みを利用し、実施のためのワークショップを開催した。(英語部会の専任教員が、毎日持ち回りで講師を担当)</p> <p>② CST (Common Speaking Test) の分析</p> <p>テスト終了後、担当教員を対象にクラスでのスピーキングテストの準備に関してアンケート調査を行った。また、各レベルの学生のパフォーマンスを4つの採点項目ごとに統計分析した。</p> <p>③ PDCA サイクルの一環としてアンケート調査</p> <p>年度末に、今年度から開講した2つの必修英語科目に関して、担当教員を対象にアンケートを実施した。アンケート結果を集約し、3月初旬に開かれた教員連絡会で報告を行った。一元化で本年度より導入された必修英語の小人数制クラスに対して、肯定的な回答が多く寄せられた。指定統一テキストに関しては、賛否両論あったが、今後さらに本学のプログラムに合うテキストを探していく予定である。</p> | |
| <p>2 その他の事項</p> <p>① 通訳コンテスト出場に向けた指導</p> <p>毎年11月末から12月初旬に「学生通訳コンテスト」を開催している名古屋外国語大学より、本年度もコンテストの推薦枠(1名)をもらい、本学の学生1名を推薦した。コンテスト出場にあたり、あらかじめ通訳すべき対談のトピックが与えられていたので、事前に内容をリサーチし、語彙リストを作成するなど、授業以外で個別指導を行った。2017年度のテーマは“孤島の島は存在しない：世界、日本、双方が互いに与え合うもの”で、歴史を遡り、宗教、科学、文学、美術、建築、医療など様々な分野で、日本と世界とのつながりについて見識を広めることができた。</p> <p>② 新任非常勤講師の対応</p> <p>新たに採用された非常勤講師を対象に、3月初旬の教員連絡会開始前の時間を使い、指定統一テキストの使用についてワークショップを実施した。テキストの出版社を招き、PC教室で、実際に体験しながら付属オンライン教材の利用法について説明会を行った。</p> | |

3 次年度以降の計画・抱負

2018年度は、英語カリキュラム一元化の2年目となり、残りの必修英語2科目が新たにスタートする。1年次、2年次の必修英語科目が平行して開講され、新カリキュラムの完成年度となる。今後も、新たな非常勤講師の採用、シラバスおよびテキストの再検討、担当教員の配置など、新カリキュラムが円滑に実施されるよう取り組んでいきたい。